

パクリタキセル+カルボプラチン+ペム ブロリズマブ療法を受けられる患者様へ

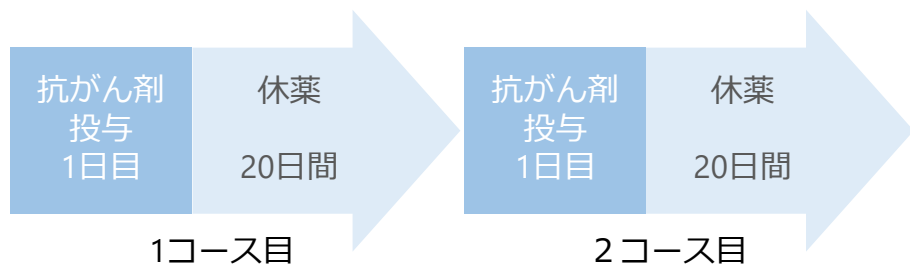
治療について

この療法は、パクリタキセル(T)とカルボプラチン(C)とペムブロリズマブ(商品名;キイトルーダ)という違う作用の抗がん剤を組み合わせる治療です。

ペムブロリズマブは、がん細胞が自分を守るためにかけている免疫機能のブレーキをはずして、がん細胞への攻撃力を高める薬です。分子標的薬と呼ばれる薬の一つです。

投与スケジュール

1日目に2種類の抗がん剤を投与します。
後の20日間を休みとし、21日間を一区切り(1コース)とします。



ここに示したスケジュールは参考であり、
患者さんの状態や副作用によって変更することがあります。

点滴で投与する薬について

ペムブロリズマブ
200mg

抗がん剤です。
30分かけて投与します。

デキサメタゾン
パロノセトロン
クロルフェニラミン
ファモチジン

吐き気止めのお薬です。
アレルギー予防のお薬です。
30分かけて投与します。

パクリタキセル
(mg)

抗がん剤です。
180分かけて投与します。

カルボプラチン
(mg)

抗がん剤です。
60分かけて投与します。

生理食塩液

お薬を洗い流します。
5分かけて投与します。

パクリタキセルはアルコール(ビールでジョッキ1杯(500mL)程度)を含んでいますので、お酒を飲んだ時のような症状(顔がほてる、眠気等)が現れることがあります。
点滴をする日に車で来院することは控えてください。

副作用について

自覚できる副作用

アレルギー反応
急性嘔吐

熱感・かゆみ・動悸などの症状が現れたら、すぐにお伝えください。

遅発性嘔吐
食欲不振
便秘 倦怠感
筋肉痛・関節痛

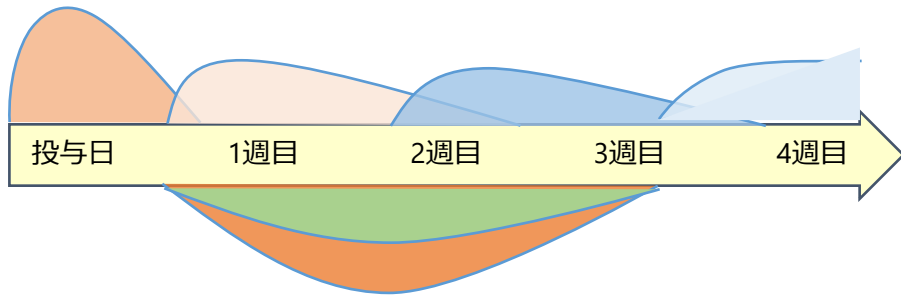
気持ちが悪い時には我慢せずに申し出てください。他にもお薬があります。痛みがひどい場合、痛み止めを使うことができます。遠慮せずに申し出てください。

口内炎 下痢

口内炎・下痢・便秘にはお薬が有効です。遠慮せずに申し出てください。

脱毛
味覚の変化
末梢神経障害

髪の毛は、治療終了後半年くらいで再び生えてきます。手足のしびれ、感覚が鈍くなるなどの症状が現れたら、お伝えください。



肝障害 腎障害

白血球減少
血小板減少

感染予防のため、手洗いをこまめにしっかり行いましょう。38℃以上の発熱がある場合は病院に連絡をして下さい。

自覚できない副作用

その他にも気になる症状がありましたら、お気軽に医療スタッフまでご相談ください。

ペムブロリズマブの副作用について

皮膚障害

皮疹・発赤・かゆみなどの症状が現れたら、すぐにお伝えください。

甲状腺機能障害

疲労感・体重の変化・脱毛・悪寒などの症状が現れることがあります。定期的に検査をします。




糖尿病

糖尿病を発症することがあります。

大腸炎

下痢・腹痛・血便などの症状が現れたら、すぐにお伝えください。

内服薬について

1日目	2日目	3日目	4日目
			

吐き気止めのお薬です。吐き気が無くても服用してください。

日本医科大学武蔵小杉病院薬剤部
川崎市中原区小杉町1-396 ☎(044)733-5181